

ピュア・サポート グループ

代表 小山敬子様

おとなの学校本校の皆様

2010.3.9

特定医療法人清風会 森 崇文

ありがとうごさいます♡♡♡

本日、津山では大雪になりました。この季節にしては珍しく寒い日です。

さて、本日の学校ウィークリーミーティングでのこと。

わたくし、泣いてしまいました！！

学校になって、身も心も元気になってと一っても笑顔がよくなった、私の小学校の恩師のご母堂のお話。

せつかく元気になったのに、3年も入所しているうちに、離れの自室は孫の新居となり、夫は病死し、会いに来る長男（恩師です）だけが細い糸でした。もちろん、恩師は校長先生まで勤め上げた方でとても優しい方なのですが、嫁姑の関係と障害を持つ弟、初孫が生まれた息子家族との同居であり、在宅復帰は躊躇われていました。

開校式から始まり、成果発表会や行事のたびにご案内を出し（もちろん他のご家族にも、です）、相談員やスタッフがプレッシャーでなく根気よく働きかけをし、お越しいただき、お母さんの姿を見てもらい、お正月には外泊もしていただけるまでになりました。

成果発表会でご本人が詠まれた、孫と過ごすお正月の句が決定打（それを聞きながら息子さんは涙ぐんでいました。）となったのかもしれませんが。もちろんスタッフの働きかけがよかったのが要因としては一番大きいのですが、この度、在宅復帰（もちろん今後は通学です。）されることになりました。

もちろんそれまでも在宅復帰された方は複数あり、オンリーワンの卒業式も片手以上してきました。ただ、今回の卒業は、「この人が家に帰れなかったら、ボクらの仕事はおえまあ（注：おえん=いけない、だめだの意。まあ=だろう、の意。岡山弁でおえん、とは本当にダメである、ほぼ全否定のサイテーを意味する）。帰ってほしいよなあ。」という思い入れが私の中に強かっただけに、本当に嬉しかった。ミーティングメンバーみんなでお互いに大拍手して、わたくし思わず泣いてしまいました。（40歳過ぎてから結構涙もろくなった。でもこれって前頭前野の老化なんだよね。）

小山さんと皆様のおかげです。ホント、学校にしてよかった。

開校から半年。まだまだ未熟ですが、岡山校は日々進歩しています。毎週発見があります。私自身、施設見学は星の数ほどしてきましたが、自分ちでこんなに鱗が落ちる思いが何度もできるなんて、想像もしていませんでした。本当に感謝です。もっともっと頑張ります！

森 崇文